

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習IV		
担当者(Instructors)	中野 匡隆	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

専門演習IIIに引き続き、トレーニングに必要な知識や関連分野に関する内容を実践・データ収集・まとめる・修正というサイクルを繰り返しによる論文の作成とヘルスプロモーション関連のフィールドワークを通して、実社会で必要となる考え方と行動力をトライ＆エラーしながら身に付けることを目的とする。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業は、グループワークを中心とした演習形式で実施され、受講者同士での課題に関するプレゼンテーション、フィールドワーク、ディスカッション、ピäsentラクション（根拠やプロセスを教え合うこと）を積極的に取り入れる。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス、論文の執筆スケジュールの確認、夏期休暇中の進捗状況の確認、面談	授業の進め方、夏期休暇中の進捗状況について確認する。	<input type="checkbox"/>
第2回	論文のための調査、測定、実験などデータ・情報の収集1	論文のための調査、測定、実験などデータ・情報の収集を考え実施する。	<input type="checkbox"/>
第3回	フィールドワークの運営(1)	フィールドワークで指示を出しながら全体をスムーズに運営する。	<input type="checkbox"/>
第4回	論文の作成	論文を作成する。	<input type="checkbox"/>
第5回	論文の初稿の校正	論文の初稿の校正として、教員、受講者より指摘のあった箇所について修正する。	<input type="checkbox"/>
第6回	フィールドワークの運営(2)	フィールドワークで指示を出しながら全体をスムーズに運営する。	<input type="checkbox"/>
第7回	論文の第2稿の校正	論文の第2稿の校正として、教員、受講者より指摘をし、指摘箇所について修正する。	<input type="checkbox"/>
第8回	論文の完成	論文を完成させる。	<input type="checkbox"/>
第9回	フィールドワークの運営(3)	フィールドワークで指示を出しながら全体をスムーズに運営する。	<input type="checkbox"/>
第10回	要旨・パワーポイント・ポスターの作成	要旨・パワーポイント・ポスターの作成を作成する。	<input type="checkbox"/>
第11回	要旨・パワーポイント・ポスターの発表	要旨・パワーポイント・ポスターを使って発表する。	<input type="checkbox"/>
第12回	コース内発表会(1)	スポーツトレーナーコースでゼミナール大会に発表する代表者を選抜する。	<input type="checkbox"/>
第13回	コース内発表会(2)	スポーツトレーナーコースでゼミナール大会に発表する代表者を選抜する。	<input type="checkbox"/>
第14回	ゼミナール大会(1)	ゼミ内で進捗状況を発表し、受講者より意見をもらう。コース合同の発表会、発表者を選ぶ。	<input type="checkbox"/>
第15回	ゼミナール大会(2)	トレーナーコース合同で進捗状況の報告を行う。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

【講義】事前：トレーニング用語や医学用語などの専門分野の単語が多いため、テキスト、参考図書、webを利用し、必要な関連知識を学習する(2時間程度)。事後：毎回、課題が出るので、その課題に取り組む(2時間程度)。【フィールドワーク】事前：スムーズにフィールドワークが行えるように準備する(1時間程度)。事後：ゼミ内でフィールドワークの情報を共有し、振り返る(1時間程度)。

**■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)**

課題は添削・採点をしてから返却する。 全体として共通のポイントに関しては全体で共有し、個別のポイントに関しては学生個々に個別指導をする

**■授業の到達目標と評価基準(Course goals)**

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	1. 人間健康学の身体領域に関する内容を理解し、問題意識を持つことができる。 2. フィールドワークにおいて問題発見、試行錯誤、創意工夫、課題解決する努力ができる。

**■成績評価(Evaluation method)**

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

**授業内試験等(具体的な内容)(Specific contents)**

レポート（卒業論文の進捗）100%

**■テキスト(Textbooks)**

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて紹介する。	
2		
3		
4		
5		

**■参考図書(references books)**

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	酒井聰樹、これから論文を書く若者のために（究極の大改訂版）、共立出版	
2		
3		
4		
5		